

SUNRISE

<SUNRISE=太陽が昇る「日の出」と、三中(SUN)の雰囲気がよりよく上がって(RISE)いくようにとの思いを込めて…>

堺市立三国丘中学校 生徒指導通信 生徒指導部発行 No. 36 2026. 1. 13

“時を守り、場を清め、礼を正す”

三中の学校目標です。再度先生（ナカムラ）も含め、みんなに徹底してほしいと思います。

学校中の人人がこれを実行したら、学校は必ずよくなります。

◎ 【時を守り】とは、時間を守ること

約束の時間の10分前には現地に行き、5分前には着席して待つ。人を待たせない。

この意味は、相手を尊重すること。それにより、自分が信用を積み重ねること。

今日することは、全ての予定の開始5分前に姿勢を正し、心を静め、開始を待つこと。

◎ 【場を清め】とは、掃除をしてその場の気をきれいにすること

汚い場所には、よどんだ気がある。掃除をすることの意味は、気づく人になれる・心を磨く・謙虚になれる・感動の心をはぐくむ・感謝の心がめばえる。

今日することは、一つでも足下のゴミを拾うこと。一つ拾えば一つだけきれいになる。できれば15分間、人のために尽くす。

◎ 【礼を正す】とは、あいさつすること、返事をすること

あいさつの意味は、心を開いて相手に迫るということ。あいさつをすれば人間関係がよくなり、あいさつをしなければ人間関係が悪くなる。また、返事をすれば人間関係がよくなり、返事をしなければ人間関係が悪くなる。

今日することは、人より先にあいさつ・返事をする。誰にあっても、相手が聞こえる大きな声で、相手が気持ちよくなるあいさつ・返事をする。

もし仮に、昨日までそれができていなくてもよい。それは、たまたま昨日までできていないことだから。一生そうである事とは違う。過去は過去、これからはこれから。今から、全て守ればいい。

阪神・淡路大震災から31年…

6434人が亡くなった阪神・淡路大震災から17日で31年となります。神戸市など大きな被害を受けた地域では、毎年遺族などが、地震が起きた午前5時46分に黙とうし、犠牲者を悼みます。

17日は各地で追悼行事が行われ、犠牲者を悼むとともに、発生から31年の経過を見つめ直して、震災の経験や教訓を語り継ぐ1日となることでしょう。

みなさんは、まだ生まれてはいなかったですが、何らかの形でこの震災のことは知っていると思います。この震災から日本の震災に対する危機感や備えが生まれたと言っても過言ではありません。あの日から31年を迎えますが、被災者が「昨日のことのようです」と答えているニュースを見ました。家族を亡くした被災者が31年間いろんな思いを抱えたまま、日々生活を送っています。今、こうしてあたり前のように平和な毎日を過ごせていることに、感謝しなければなりません。いつ、何時、あのような地震が起こるかはわかりません。

生きたくても生きることができなかった人のことを考えると、あたり前のように生きている私たちは、精一杯に生きなくてはならないと思います。あたり前の毎日に感謝するだけでなく、一生懸命、それぞれの道で頑張らなければならぬと強く感じました。三中のみなさんも後悔しないよう、日々の生活を精一杯、胸を張って送ってもらいたいと思います。